

# 令和 5 年度事業報告

## 第1 概況

三重県内の労働市場については、令和 6 年 3 月の有効求人倍率が 1.22 倍であり、企業における求人意欲があるものの、改善の動きに一部で弱さが見られ、物価上昇が雇用に与える影響にも注意する必要があります。一方、高齢化の急速な進展や労働力人口の減少により、高齢者の社会参画は、以前に増して労働力の担い手として期待されています。

改正高年齢者雇用安定法（令和 3 年 4 月 1 日施行）により、元気で意欲溢れる高齢者が自分にあった働き方で働くことが出来る環境を実現することが可能となりました。そして、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）は高齢者に生きがいと働きがいを与え、活力ある地域社会の実現に大きな役割を果たしてきました。

三重県シルバー人材センター連合会（以下「三重県連合会」という。）では、平成 30 年 3 月に策定された「第 2 次会員 100 万人達成計画」をもとに、「三重県シルバー人材センター第 4 次中期計画（令和 3 年～令和 7 年）」を策定しています。これに基づき、県内各シルバー人材センターにおいて会員拡大を最重点課題として取り組んできたところではありますが、令和 2 年 4 月以降は、新型コロナウイルス感染症などの影響により、会員数が下げ止まらない状況にあります。当面、一日も早くコロナ前の水準（令和元年度）の会員数に回復させるべく、新たな目標に取り組みました。しかし、女性会員の拡大、退会抑制に重点を置いて取組を強化したものの令和元年度の水準にもう一步到達出来ない状況に悩まされました。

受注面では、令和 6 年 3 月末現在での請負による契約金額は約 47 億 4 百万円で、前年度比 0.5%と微増となっています。派遣での契約金額は約 12 億 6 千 6 百万円、前年度比 6.7%増となっており、回復傾向が顕著に見られ 2 年連続の増加となっています。

新規会員の獲得について、三重県連合会では県下全域を対象として、今後さらに増えるものと予想されるサービス業等の人手不足業務や地域の担い手が不足している介護周辺業務、育児支援を中心とした福祉・家事援助サービス事業の就業拡大、入会への関心を高めるための情報発信など、会員の拡大に直結する取り組みを行いました。また、ハローワークにおける求職者へのシルバー事業の情報提供や就業情報の配布など、行政の協力を得るなどして会員拡大への支援を行

いました。しかしながら、これらの取組みを行っても、令和6年3月末の会員数は10,213名と、令和5年度期首に比べ59名の減少となりました。

就業時の安全確保対策については、令和3年12月より開始した草刈りでの飛び石防止対策安全講習会を継続して実施しました。また、三重県連合会で開催している安全衛生委員会を通じて、派遣会員の労災事故の再発防止、未然防止対策を推進してきました。また、シルバー派遣事業においては、月毎に安全衛生委員会を開催しシルバー派遣実施センターの業務面での支援や今後派遣業務を開始するセンターの支援を行いました。

さらに、デジタル化の推進を図ることが喫緊の課題となっております。スマホを活用した業務連絡などデジタル技術を活用した業務の効率化を図る必要があり、このための基盤整備が必要となります。まずは、会員のデジタルリテラシー（デジタル技術を理解し活用する能力）の向上に繋がる取組みを支援しました。

請負・委任の業務においては、令和5年10月からインボイス制度が導入されています。経理事務の煩雑化が予想できる中、各センターが円滑な対応ができるよう情報発信に努め、10月に会計士・税理士事務所による経理事務担当者研修会を開催しました。また、フリーランス法（令和6年秋）が施行されることを見据え、業務委託契約を見直すことやその見直しの時期について、各センターの実情を踏まえた対応策の検討や相談などヒアリング形式で行いました。

高齢者活躍人材確保育成事業では、新規会員拡大を優先課題に取り組みます。可能な限りの周知・広報活動及び就業体験・技能講習を各センターの協力を得て開催し、会員の拡大に繋がる事業の推進を図りました。

以上の取組みを県内各センターと三重県連合会が緊密な連携を図りながら、次に掲げる事項を重点として取組み、それぞれの役割と特性に応じた事業を展開することが出来ました。

個別の事業実施状況は、次のとおりであります。

## 第2 事業実施状況

### 1 シルバー人材センター事業

#### (1) 安全就業及び適正就業推進事業

##### ① 事故件数

重篤事故（※）は8件（請負2件、派遣6件）となり派遣での事故が増加した

（※）請負は一ヵ月以上入院、派遣は一ヵ月以上休業

##### ② 三重県安全就業推進大会

令和5年7月13日（15センター・53名参加）

- ③ 安全・適正就業パトロール  
安全・適正就業対策推進委員会、センター安全就業対策推進委員等の協力を得て、7 センターに於いてパトロールを実施し、取組状況の聴取や作業現場に於ける安全就業の点検等を実施
- ④ 安全・適正就業対策推進委員会  
第1回 令和5年6月20日(Zoom)  
第2回 令和6年2月15日(Zoom)
- ⑤ 適正就業にかかる請負・委任受注内容点検(全27センター)  
適正就業の内容について理解が進んでいると判断できる一部書類不備などがあったため、是正内容を説明
- ⑥ 会員向け草刈機安全講習会(林災防)  
令和5年10月～令和6年2月に、県内6ブロックで実施

## (2) シルバー派遣事業

シルバー派遣を行う16センターのうち、12センターについては、契約金額が前年度に比べ増加した。

- ① 派遣事業推進委員会  
第1回 令和5年9月5日  
第2回 休会
- ② 派遣元責任者講習の受講  
令和5年9月26日 大阪府、参加者10名  
令和5年11月30日 京都府、参加者1名

## (3) 普及啓発事業

- ① 広報誌「シルバーみえ」第41号の発行  
令和5年12月 11,500部作成、配布
- ② 会員募集チラシ・ポスターの作成、配布  
三重県の協力を得て県内コンビニ(ファミリーマート)、スーパー(イオン)で配布
- ③ 普及啓発促進月間(10月)および「シルバーの日」活動  
三重県シルバーの日 …10月14日(土)とし、各センターで活動
- ④ 広報・会員募集活動  
県内公共職業安定所内での会員募集チラシ、就業情報の掲示  
各公共職業安定所主催の高年齢者就職面接会での事業紹介、会員募集実施

(4) 経験交流・研修事業

- ① 理事、事務局長、職員を対象とした分野別研修会
  - ・適正就業・業務担当研修会(Zoom)  
令和5年8月17日
  - ・令和5年度経理事務担当者研修会（ハイブリッド）  
令和5年10月24日
  - ・これからのシルバー人材センターの方向性について  
（講師：全シ協専務理事） 令和5年11月22日
  - ・派遣事業に関する研修会(Zoom)  
令和6年1月19日
- ② 全シ協、東シ協主催の交流・研修参加推奨  
安全就業指導員会議、適正就業担当者会議、経験交流大会への参加推奨

(5) 指導相談事業

三重労働局および三重県のセンター指導監査に立ち会い  
同時に三シ連としての個別指導を9センターに対して実施

(6) 福祉・家事援助サービス事業

- ① 福祉・家事援助サービス月間(12月・1月)  
11センターにおいて活動実施
- ② 高齢者活躍人材育成事業技能講習の場での普及啓発
- ③ シルバーいきいきフェスタ  
新型コロナウイルス感染の影響のため中止

(7) 有料職業紹介事業

有料職業紹介実績はなし。  
令和5年12月15日の講習会(大阪府)に9名が参加

2 高齢者活躍人材確保育成事業

(1) 事業目標に対する結果

令和5年度事業目標値の新規入会者数158人に対して、176人の新規入会者数となり、目標を達成

(2) 周知・広報活動

① ポスター掲載

拠点シルバー、ハローワーク、三重県運転免許センターなどに設置

② 新聞・テレビコマーシャル等

就業者向け、および企業等の人事担当者向けに制作、配信

(3) 就業体験、技能講習

6項目 10会場で実施、受講者 86名。(受講者アンケートを実施)

(4) 企業ニーズ把握

県内 500社にアンケート実施、回答 150社について情報展開

3 会議の開催（開催回数、会議形式）

(1) 理事会（開催回数 3回、ハイブリッド）

(2) 定時総会 6月 14日

(3) 事務局長会議（開催回数 4回、Zoom 及びハイブリッド）

(4) 理事長座談会 11月 22日

以 上